

# とよなか

子ども達の豊かな成長・発達の力を  
ために皆で力を  
合わせましょう！

教え子を再び戦場に送るな！ 2013年9月16日発行NO. 509

## 豊能ブロック 夏の教育研究集会

八月三十一日（土）、福  
社会館に於いて、「豊能ブ  
ロック教育研究集会」を開  
催し、全日程で百名をこえ  
る参加者で学びあいました。

### 「シリア・イラクからの 最新報告」に共感

ジャーナリストの西谷  
文和さんに講演を依頼し  
たのが四月の頃。その後  
シリア情勢が緊迫すると  
ともに、日本でも報道さ  
れるようになり、八月の  
後半には「化学兵器」の  
問題で、緊張は一気に高  
まりました。そんななか  
での集会。  
「シリアはどうなってい  
るのだろう」「また、イ



ラク戦争のようなことが  
起こるのだろうか」と心  
配し真実を知りたいと思  
う方々で、会場はいつぱ  
いになりました。

西谷さんから、現地の  
様子をたくさん映像と  
ともにお話を聞きました。  
小さな子どもたちが手  
や足を失うひどいケガを  
して、お父さんと別れて  
「ドイツ平和村」に治療  
に行く姿には本当に胸が  
痛みました。映像を見る  
と、理由は何であれ、子  
どもは関係ないでしょう！  
とにかく武力攻撃はやめ  
て！と叫びたくなりまし  
た。

私達にとって、「内戦」  
と聞くのが理解しがたい争  
いなのですが、（シリア  
が独立して宗主国であつ  
たフランスが撤退すると  
きに、少数民族に武器を  
渡した。不安定な政権を  
つくらせ、国内がもめる  
と大国が介入するといふ  
構図をつくりあげた）と  
いう話を聞くと、心にひつ  
かかっていた疑問がすと

んと落ち、そのようにし  
て戦争状態がつくられて  
いくのか、とてもよくわ  
かりました。

劣化ウラン弾も、日本  
で使われている原発のウ  
ランも、もとは同じ企業  
から送られてくること、  
そのことは報道されない  
こと、戦争が起ること、  
必ず儲かる人がいること  
：そのような話を聞くう  
ちに、大切なことが知ら  
されない恐ろしさを改め  
て感じました。

かつての日本も戦争中  
には本当のことを知らさ  
れていませんでした。今  
はどうでしょう。おりし  
も原発汚染水漏れのニュー  
スが報道されていました  
が、報道は人々にとって  
十分納得できることなの  
でしょうか。

「シリア・イラク」の  
話から、原発の問題、  
「憲法」のことまで、根っ  
この部分でつながってい  
ることを改めて感じ、キ  
ワードは「真実を知ること」、  
「知ろうとすること」  
そのことを一人一人が近  
くの人に伝えていきたい  
と感じた講演でした。

### 「世界で一番美しい村」 は今

四年生の国語教科書に  
載っている『世界で一番  
美しい村』の主人公ヤモ  
の村（アフガニスタン）  
が、今は市場もできはじ  
め復興しているという話  
を聞き、そこに希望の光  
を見ました。



西谷さんの持ってこら  
れたDVDや著書、『世  
界でいちばん美しい村』  
の絵本など、たくさん  
の資料が完売し、校内研修  
の講師として西谷さんに  
来てもらう話も進むなど、  
「平和を守るため自分た  
ちにできること」の集会  
テーマが実感できる全体  
集会になりました。

【教文部長 藤木 桂子】

全体集会では、講演のほかに、参加型紙芝居『憲法が変わったらどうなるの？ほんとうは怖い不思議の国のアリス』の上演しました。

### 【感想】 〈全体会・講演〉

○知らないことが多くて、恥ずかしい思いになりました。西谷さんの熱い思いに触れ、参加してよかったです。もっともっと真実を自ら知り、子どもたちや周りに伝えていきたいと思いません。世界平和のために、まずは一人一人身近なところ



からつなげようと思いましたが、新聞に載っているシリアのことについて、報道されていないこともよく分かりました。ミサイルの空爆で赤ちゃんを亡くした親、ビルにはさまれて亡くなった女の子の映像は、つらかったです。所得ごとの税金のグラフをみながらの「公務員攻撃」の動画(YouTube)はおもしろかったです。(Kさん・女性)

○シリア、アフガニスタンの情勢が生々しく伝えられ、とても大変な環境を見て驚きに尽きた。メディアの問題、政治の問題にリンクされたお話もわかりやすく、ためになった。(面白いところは面白かった)(Mさん・男性)

○4月に、子どもがシラけているように見えても、それは表面上であって、本心では「楽しい学校生活」を望んでいるということ、それに応える先生の指導、本当にためになりました。自分のモデルの一人として、心に留めていきたいです。—学級集団づくり (Fさん・男性)

○とても勉強になりました。夏休みの(だらけ)心も体もふきとびました。二学期のスタート、楽しみです。—授業づくり (Hさん・女性)

○教育実践と組合の大切さが結びついた、組合教研でしか話せないことを話したり聞けたりしてよかった。—特別支援(Mさん・女性)

### 豊中の戦争展 開催 戦争体験を語り継ごう

14・15日、第22回となる豊中戦争展が中央公民館でおこなわれ、300人近くの方が見学されました。

今年、長興寺で発見された高射砲爆弾の薬莖の展示があり薬莖の重さに驚きました。

例年の豊中空襲、ヒロシマ・ナガサキ、沖縄戦の展示に加え、「強制連行」「原発はいま:」「現代の戦争(シリア)」「(西谷文和提供)「そもそも憲法とは」など『いま』問題になっている展示がありました。また、子どもたちの平和学習(壁新聞や「ゲルニカ」の模写)も見学者の目を引きました。



一年生だった海江田さんと兄、祖母の逃避行は捕虜になるまで8か月以上続きました。累々と続く死体を見ても何も感じず、栄養失調で座り込んでいた子どもが「鬼畜米英が来る。」という声で立ち上がって逃げたというくだりでは、教育の恐ろしさを感じました。一時間半以上続いたお二人のお話でしたが、小学生の子どもたちも集中して聞き入っていました。

戦争体験者の話を直接聞けるのも機会が少なくなってきました。戦争の体験を語り継承していくことが大切になっています。

○とても楽しく作れて、おみやげももらって、よかったです。ちょっと人数が少なかつたのが残念

でしたが、ゆったりとした雰囲気で作ることができました。—ものづくり (Sさん・女性)

(Sさん・女性)